

第6節 県内におけるばい煙発生施設数等の年度別推移

1 ばい煙発生施設数の年度別推移

種 類 \ 年 度	13	14	15	16	17
ボ イ ラ ー	2,005	2,031	2,002	2,005	2,015
金 属 溶 解 炉	149	151	150	161	165
金 属 加 熱 炉	163	172	166	169	166
焼 成 炉 ・ 溶 融 炉	80	80	77	74	70
乾 燥 炉	105	103	102	100	96
電 気 炉	27	27	26	24	23
廃 棄 物 焼 却 炉	75	53	47	49	56
銅・鉛・亜鉛精錬用施設	11	11	0	3	2
塩素・塩化水素反応施設	81	80	74	66	69
ガ ス タ ー ビ ン	76	77	76	80	80
デ ィ ー ゼ ル 機 関	260	267	270	274	265
そ の 他	50	49	53	49	55
合 計	3,082 (100)	3,101 (100)	3,043 (98)	3,054 (99)	3,062 (99)

注 () は、13年度を100とした指数である。

2 燃料使用量の年度別推移

(単位：千 kL)

燃料の種類 \ 年 度	13	14	15	16	17
A 重 油	272 (100)	268 (99)	279 (103)	270 (99)	248 (91)
C 重 油	309 (100)	296 (96)	353 (114)	335 (108)	352 (114)
原 油	179 (100)	197 (110)	326 (182)	492 (275)	180 (101)
石 炭 等 [※]	860 (100)	802 (93)	1,102 (128)	934 (109)	847 (98)
小 計	1,620 (100)	1,563 (96)	2,060 (127)	2,031 (125)	1,627 (100)
灯 油	347 (100)	365 (105)	332 (96)	336 (97)	349 (101)
軽 油	344 (100)	344 (100)	322 (94)	356 (103)	373 (108)
ガ ソ リ ン	527 (100)	541 (103)	540 (102)	558 (106)	550 (104)
合 計	2,838 (100)	2,813 (99)	3,254 (115)	3,281 (116)	2,899 (102)

注 1 この表は、石油連盟及び県内事業所の資料を基に集計したものである。

2 () は、13年度を100とした指数である。

3 石炭等(※)は、石炭及びコークス、オイルコークスの使用量をそれぞれ重油相当に換算し、これらを合計した量である。

3 自動車保有台数の年度別推移

(単位：台)

用途、種類		年度				
		13	14	15	16	17
貨物用	普通車	30,121	29,294	29,294	29,338	29,327
	小型車	56,893	54,521	54,521	51,425	50,223
	被けん引車	872	844	844	885	899
	軽自動車	106,341	103,967	103,967	100,884	100,019
乗合用	普通車	831	841	841	842	853
	小型車	1,511	1,469	1,469	1,448	1,455
乗用	普通車	128,077	133,009	133,009	143,471	147,183
	小型車	325,782	323,178	323,178	316,240	314,336
	軽自動車	158,697	167,846	167,846	184,865	192,859
特種用途車		19,742	19,672	19,647	19,655	18,678
二輪車		18,764	18,910	19,050	19,457	19,857
総数		847,631	853,551	859,252	868,510	875,689

注 北陸信越運輸局富山運輸支局調べによるもので、それぞれ年度末現在の台数である。